

令和5年度第3回学校関係者評価委員会報告

1 開催日時

令和6年2月16日(金) 15:30~16:30

2 場所

本校会議室

3 参加者

児玉晃一(PTA会長) 高田政雄(同窓会会長)
萩原聖司(南九州市立川辺中学校長) 飯伏志穂子(元PTA副会長)
辰野正寿(川辺町スタンプ会会長) 久木田 智成(南九州警察署川辺交番)
前田(校長) 西(教頭) 前田(事務長) 永長(教務主任)
寺田(進路指導主任) 森園(生徒指副主任) 高山(保健主任)

4 内容

(1) 校長挨拶

(2) 協議

学校活性化について

学校評価アンケートについて 教頭から説明があった。

校務分掌評価結果について、それぞれ説明があった。

資料を参考に、各委員と意見交換を行った。

E 保護者アンケートの回答数が少ないと思うが、全保護者数は何人か。
教頭 126人です。アンケートの実施は保護者へ連絡しているが、回答がない人もいる。

F アンケートが電子媒体になってから厳しい意見も多くなって来ていると思う。

現在、3年生の進路状況はどうですか。

進路指導主任 3年生は33人いるが、就職2人、水産大学校1人、国公立大学3人のを含め大学進学が7割、短期大学が1割、他に専門学校などで進路決定がある。11人の進路は決まっていない。

校長 進路希望先として医療系、幼稚園、保育も多い。

B 進路の決まっていない生徒は自身の希望するところに行けそうですか。

校長 最後まであきらめないように声掛けを行っている。

A 学校の実態を保護者により把握してもらう必要がある。保護者が子供のことを学校任せにならないように学校と連携しながらやっていくべきである。

C アンケートに保護者の意見が出てくるのは良い。このような意見アンケートが電子媒体による回答になってからは、厳しい意見も多くなっているのではないか。

教頭 保護者からの意見をしっかりと受け止め対応していきたい。

D バスの減便に係る署名はどれくらい集まったのか。

校長 約1300ほどである。

D バスの減便について、現状はどうか。

校長 バスについて、増便は難しいといわれている。ただ、これ以上の減便はないようお願いしている。バスの減便に係る署名は、今後、鹿児島県の交

通政策課へ提出する予定です。

- B 中学校において、近隣の中学校からの高校の通学に係るバスについての意見はありますか。
- F バスの減便で生徒が不利益となるのは、鹿児島市内の高校を希望する生徒ではないか。
私立高校の通学バスが広域でまわっていることは、公立高校へ大きな影響があると思う。
- E 生徒の交通関係で特に違反等は川辺高校は聞いておらず問題はありません。
- A 学校を広くPRするにあたって、来年度の文化祭の広報を早めにし、中学生や地域の方々へ文化祭実施の認知度を高めてもらいたい。

5 最近の話題から 本校HPブログからの紹介を行った。

6 閉会のことば